

ファイルフォーマット(アップロード・ダウンロード)

➤ アップロード・ダウンロードファイル一覧

各取引において提供する送受信ファイルの一覧は以下の通りです。

No	ファイル名	形式	文字コード	送受信区分
	デフォルトファイル名 ※1			
1	開示結果ファイル “kji” + YYYYMMDDHHMMSS + “.csv”  付録 P59	CSV	Shift_JIS	受信
2	開示結果ファイル “kji” + YYYYMMDDHHMMSS + “.txt”  付録 P89	固定長	JIS	受信
3	一括記録請求ファイル アップロード時:ファイル名は任意 ダウンロード時:“iks” + YYYYMMDDHHMMSS + “.txt”  付録 P93	固定長	JIS/ EBCDIC ※2	送信 受信
4	一括記録請求結果ファイル “ikk” + YYYYMMDDHHMMSS + “.txt”  付録 P95	固定長	JIS	受信
5	操作履歴ファイル(企業向けユーザ) “srk” + YYYYMMDDHHMMSS + “.csv”  付録 P98	CSV	Shift_JIS	受信
6	共通フォーマット・配信1形式ファイル “kyf” + YYYYMMDDHHMMSSSSSS + “.txt”  付録 P100	固定長	JIS/ EBCDIC	受信
7	取引先情報登録ファイル(総合振込形式) ファイル名は任意  付録 P108	固定長	JIS/ EBCDIC	送信
8	取引先情報登録ファイル(CSV形式) アップロード時:ファイル名は任意 ダウンロード時:“tsc” + YYYYMMDDHHMMSSSSSS + “.csv”  付録 P109	CSV	Shift_JIS	送信 受信
9	取引先情報登録結果ファイル※3 “tsk” + YYYYMMDDHHMMSSSSSS + “.csv”  付録 P114	CSV	Shift_JIS	受信
10	受取債権情報ファイル “uts” + YYYYMMDDHHMMSSSSSS + “.csv”  付録 P118	CSV	Shift_JIS	受信
11	入金予定情報ファイル “nky” + YYYYMMDDHHMMSS + “.csv”  付録 P120	CSV	Shift_JIS	受信
12	支払予定情報ファイル “shy” + YYYYMMDDHHMMSS + “.csv”  付録 P122	CSV	Shift_JIS	受信

① ご注意事項

※1 : デフォルトファイル名の YYYYMMDDHHMMSS は年月日時分秒を表す。

YYYYMMDDHHMMSSSSSS は年月日時分秒+ミリ秒を表す。

※2 : アップロードしたファイルをダウンロードする場合は、アップロードした際の文字コードとなります。

テキスト固定長ファイル概要

➤ 固定長テキストファイル・フォーマット一覧

固定長テキストファイルのレコード長およびフォーマットは以下の通りです。

項番	ファイル	レコード長 (byte)	でんさいネット標準フォーマット (固定長テキスト形式) 1. 2版
1	一括記録請求ファイル	250	集信1 (※1 送信 C→D)
2	一括記録請求結果ファイル	300	配信1 (※1 受信 C←D)
3	開示結果ファイル	300	配信2 (※1 受信 C←D)
4	共通フォーマット・配信1形式ファイル	300	配信1 (※1 受信 C←D)
5	取引先情報登録ファイル(総合振込形式)	120	—

※1: C…企業ユーザ D…《電子記録債権取引システム》 送受信区分は企業ユーザ主体で表記

➤ ファイル形式

1. 文字コード

文字は1バイト文字を使用します。文字コード区分と対応する文字コードは以下の通りです。

項番	文字コード区分	文字コード
1	JIS	JIS X 0201
2	EBCDIC	EBCDIC

2. 改行コード

・アップロード時: 以下の改行コードが設定されている場合は、アップロード時に改行コードを削除します。

JISコード使用時 : CR、LF、CR+LF

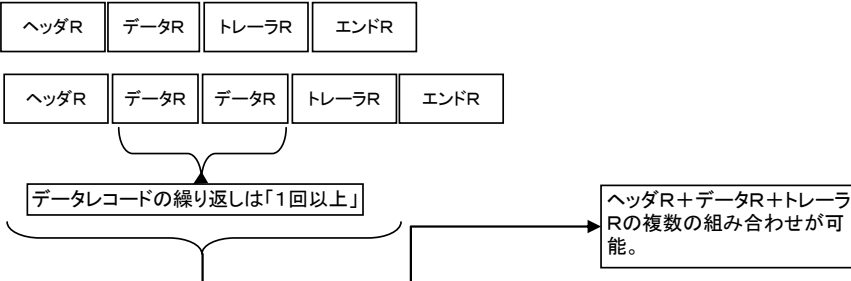
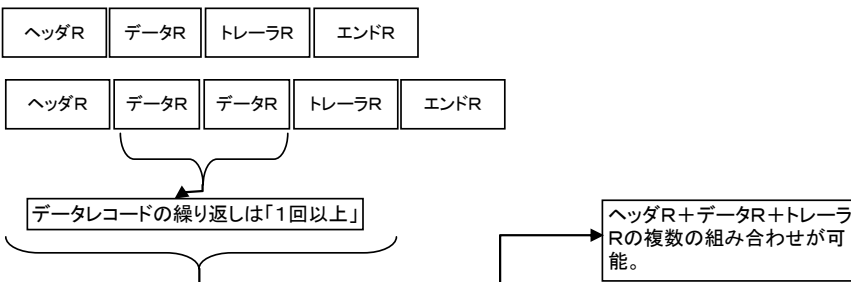
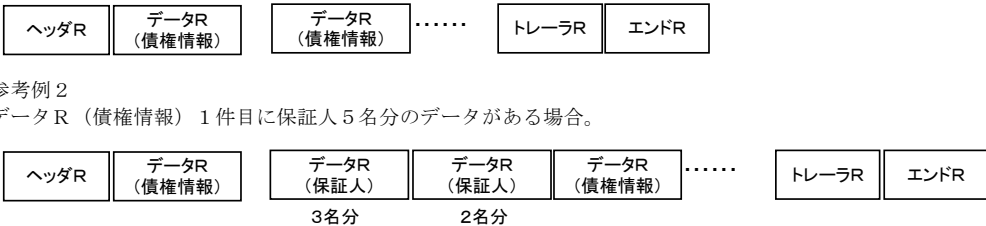
EBCDICコード使用時: NEL

・ダウンロード時: 改行コードは設定されません。

なお、改行コードを付与してアップロードしたでんさいネット標準フォーマットのファイルをダウンロードする場合、受付時に改行コードを削除するため、改行コード設定なしの状態でのダウンロードとなります。

➤ 固定長テキストファイル・レコード構成

固定長テキストファイル・レコード構成の概要および構成例は以下の通りです。

<p>集信 1</p> <p>マルチヘッダを認めています。また、同一ファイルに複数の請求種別を含めることが可能です。エンドレコードは1ファイルにつき1レコードが最後に付与します。レコードの構成はでんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2版に準拠しています。 なお、サブファイルが複数となっても、ヘッダ部の請求口座は、1口座（同一口座）で設定する必要があります。</p> <p>参考例 1</p>	 <p>参考例 2</p> <p>データレコードの繰り返しは「1回以上」</p> <p>ヘッダR+データR+トレーラRの複数の組み合わせが可能。</p>
<p>配信 1</p> <p>マルチヘッダを認めています。エンドレコードは1ファイルにつき1レコードが最後に付与します。レコードの構成はでんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2版の配信1に準拠しています。</p> <p>参考例 1</p>	 <p>参考例 2</p> <p>データレコードの繰り返しは「1回以上」</p> <p>ヘッダR+データR+トレーラRの複数の組み合わせが可能。</p>
<p>配信 2</p> <p>マルチヘッダは認めていません。レコードの構成はでんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2版の配信2に準拠しています。</p> <p>参考例 1</p> <p>データR（債権情報）1件目に保証人情報なし。</p>	 <p>参考例 2</p> <p>データR（債権情報）1件目に保証人5名分のデータがある場合。</p> <p>3名分 2名分</p>

➤ レコード上限数

《電子記録債権取引システム》よりダウンロードする固定長テキストファイルのうち、レコード上限数の制限を設けているダウンロードファイルは以下の通りです。

件数のカウント対象となるレコードは、繰り返し項目となるデータ部を指します。(ヘッダ、トレーラ、エンドはカウント対象外)

上限を超えた場合、超えた旨のメッセージを出力し、ファイルダウンロードをすることはできませんが、抽出条件を変更して対象レコードを絞り、複数回に分けてダウンロードを行うことが可能です。

ダウンロードファイルでは、以下に示すファイル以外は上限を設けていません。

アップロードファイルについては、付録の各種ファイルのチェック仕様をご確認ください。

項番	ファイル名	レコード上限数
1	共通フォーマット・配信1形式ファイル	5,000件

CSV可変長ファイル概要

➤ ファイル形式

《電子記録債権取引システム》にて利用するCSVファイルは、可変長ファイルです。

文字コードについては、Shift_JIS を使用します。

1. 共通形式

- ・CSV可変長ファイルは原則 1 つ以上のレコードから構成します。
- ・開示結果ファイルについては、でんさいネットからの情報をそのまま提供するため、対象結果が0件の場合でも0件データをダウンロード可能とします。
- ・その他のファイルについては、オペレーションの削減のため、0件データのダウンロードは不可とします。
- ・レコードは改行コードで区切ります。

以下にアップロード時、ダウンロード時に使用可能な改行コードを示します。

アップロード時: CR+LF

ダウンロード時: CR+LF

ただし、取引先情報登録ファイル(CSV形式)については、アップロード時に CR、LF も使用可能とします。

- ・アップロード時、最終レコードには、改行コードのみのレコードは作成しません。
 - ・アップロード時、最終レコードに改行コードが存在しない場合でもアップロードを可能とします。
 - ・ダウンロード時、最終レコードには改行コードを付与します。
 - ・各レコードはフィールドで構成します。
 - ・フィールドはカンマ[,]で区切ります。カンマ[,]の数に過不足がある場合はエラーとなります。
 - ・各フィールドはダブルクォーテーション[""]で囲みます。
- ダブルクォーテーション[""]の数に過不足がある場合はエラーとなります。

ただし、取引先情報登録ファイル(CSV形式)については、ダブルクォーテーション[""]で囲まない形式も許容します。(注1~3)

- ・フィールドに値を設定しない場合は、ダブルクォーテーション[""]を連続して設定します。
- ・アップロードファイルについて、EOF(0x1A)は許容しません。

① ご注意事項

(注1)取引先情報登録ファイル(CSV形式)においては、以下の設定例②の形式も正常とします。

設定例①:本来の指定方法 ⇒ "aaa","bbb","ccc"

設定例②:ダブルクォーテーション【"】で囲まない形式 ⇒ aaa,bbb,ccc

(注2)項目にカンマ【,】を指定する場合はダブルクォーテーション【"】で囲む必要があります。

「b,b」を指定したい場合の例を以下に示します。

設定例①:本来の指定方法 ⇒ "aaa","b,b","ccc" ○(正常)

設定例②:カンマを含む項目のみをダブルクォーテーション【"】で囲む方法

⇒ aaa,"b,b",ccc ○(正常)

設定例③:ダブルクォーテーション【"】で囲まない形式

⇒ aaa,b,b,ccc ×(カンマを区切り文字と認識するためエラー)

(注3)項目にダブルクォーテーション【"】を指定する場合は、ダブルクォーテーション【"】を連続して指定する必要があります。

「b"b」を指定したい場合の例を以下に示します。

設定例①:本来の指定方法 ⇒ "aaa","b""b","ccc" ○(正常)

設定例②:ダブルクォーテーションを含む項目のみをダブルクォーテーション【"】で

囲む方法 ⇒ aaa,"b""b",ccc ○(正常)

設定例③:ダブルクォーテーション【"】で囲まない形式 ⇒ aaa,b"b,ccc ○(正常)

設定例④:本来の指定方法でダブルクォーテーションを連続しない形式

⇒ "aaa","b"b","ccc" ×(ダブルクォーテーションが連続していないためエラー)

2. 個別形式

<項目名ヘッダ>

- ・各フィールド名称を設定するレコードです。
- ・ファイルの構造を加味することで可読性を考慮した設定とします。ただし、可読性を損なうものについては設定しません。
- ・ヘッダ行の設定はダウンロード時のみ設定するものとし、アップロード時は設定しないものとします。

<検索条件>

- ・ユーザが画面上で検索を行った際の、検索条件の値です。
複雑な検索条件や、選択肢が多岐にわたる等、オペレーションミスを起こしやすい業務については、ファイル中に本項目を設定しますが、検索結果画面で検索条件を確認できることから、原則設定しません。

> レコード上限数

《電子記録債権取引システム》よりダウンロードするCSVファイルについて、レコード上限数を設けています。

レコードは繰り返し項目となるデータ部のことを指します。(ヘッダ、トレーラ、エンドはカウント対象外)

上限を超えた場合、超えた旨のメッセージを出力し、ファイルダウンロードをすることはできませんが、抽出条件を変更して対象レコードを絞り、複数回に分けてダウンロードを行うことが可能です。

制限を設けているダウンロードファイルは以下の通りです。

ダウンロードファイルでは、下記に示すファイル以外は上限を設けていません。

項番	ファイル名	レコード上限数
1	操作履歴ファイル(企業向けユーザ)	2,400件